



株主の皆様へ

代表取締役社長
多田野 宏一

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2016年度中間期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期のわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きがあるものの、円高や新興国経済の減速により輸出・生産は伸び悩み、企業収益・設備投資が横ばいとなるなど、景気は足踏みが続いております。欧州経済は横ばい、米国経済は徐々に回復、新興国は総じて減速基調にあります。中国経済減速による影響、原油・資源価格動向、地政学上のリスクに加え、英国のEU離脱問題もあり、下振れ懸念が高まっております。

私どもの業界は、日本では、復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策・民間建設投資等により基調は概ね堅調に推移しております。海外では、欧州が増加したものの、北米・中東は原油価格の影響を受け減少、東南アジアは経済減速の影響を受け減少、全体として需要は減少しました。

当中間期は、売上高が、日本は横ばい、海外は減少となり、売上減少や為替影響等により減収減益となりました。

今後の経済見通しにつきましては、日本経済は、円高や海外経済減速による輸出の伸び悩み、企業収益の悪化を背景とした設備投資の減速が見込まれるものの、個人消費は緩やかな回復が見込まれ、景気は年度末にかけて緩やかに持ち直していくことが期待されます。海外では、米国経済の回復が期待されるものの、新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、米国金利や原油価格の動向、為替の変動、地政学的リスクなど不透明感が増しております。

当社グループを取り巻く年度後半の需要環境は、日本では堅調に推移すると見込んでおります。海外では新興国経済の減速や原油・資源価格の低迷により、期初の想定よりも減少する傾向にあります。

当社グループの通期業績は、このような経営環境のなか、減収減益の見込みです。

当社グループは、「中期経営計画(14-16)」において、「強い会社」を基本方針として、3つの重点テーマ実現のために7つの戦略に取り組んでまいります。

「強い会社」とは、いかなる外部環境にあろうとも、「利益を出す」「人を育てる」を毎期継続することができる会社と考えております。

- ・3つの重点テーマ
 - 「更なるグローバル化」：世界の需要構造に適応した事業構造
 - 「耐性アップ」：急激な経営環境の変化に左右されにくい体質
 - 「競争力強化」：コアバリュー(安全・品質・効率)を軸とした高い顧客価値の提供

- ・7つの戦略
 - ①基幹市場の拡充と戦略市場の拡大
(注：基幹市場＝日本・欧州・北米、戦略市場＝基幹市場以外の市場)
 - ②No.1商品の提供とラインナップの充実
 - ③グローバル＆フレキシブルものづくりへの取り組み
 - ④感動品質、感動サービスの提供
 - ⑤ライフサイクル価値の向上
 - ⑥収益力のレベルアップ
 - ⑦グループ＆グローバル経営基盤の強化

なお、2016年度は、「中期経営計画(14-16)最終年度の仕上げと次期中期経営計画(17-19)の検討」と「市場急落・競争激化への備えと対応」に取り組んでまいります。

私たちタダノグループは、「企業が社会や人との調和の中に生かされている存在」との認識のもと、地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進します。全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化することで、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

中間配当につきましては、10月31日開催の取締役会におきまして、1株13円とすることを決議いたしました。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

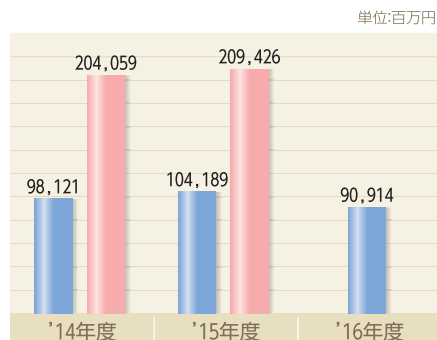
営業の経過及び成果

日本向け売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーンが減少、高所作業車が増加し、497億5千5百万円(前年同期比97.8%)となりました。海外向け売上高は、プラント・インフラ関連需要の取り込みに加え、新モデルの投入・新規顧客の開拓に注力したものの、需要減少基調のなか、411億5千8百万円(前年同期比77.2%)となりました。この結果、総売上高は909億1千4百万円(前年同期比87.3%)と

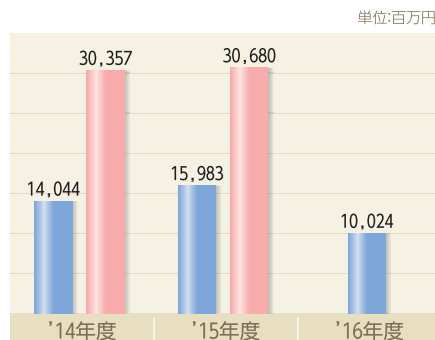
なりました。なお、海外売上高比率は45.3%となりました。

売上減少や為替影響等により、営業利益は100億9千4百万円(前年同期比62.4%)、経常利益は100億2千4百万円(前年同期比62.7%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、69億7千3百万円(前年同期比65.0%)となりました。

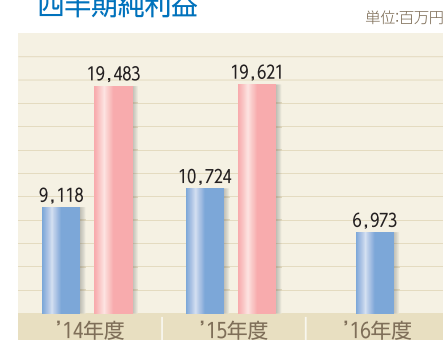
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



タダノグループの連結業績の概況

タダノグループの主要品目別売上高の推移

■建設用クレーン

日本向け売上は、新排出ガス規制対応機種への生産移行の影響を受け、需要が減少するなか、拡販に注力したものの、224億2千9百万円（前年同期比90.1%）となりました。

海外向け売上は、プラント・インフラ関連需要の取り込みに加え、新モデルの投入・新規顧客の開拓に注力したものの、需要減少基調のなか、349億3千9百万円（前年同期比75.3%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は573億6千9百万円（前年同期比80.5%）となりました。



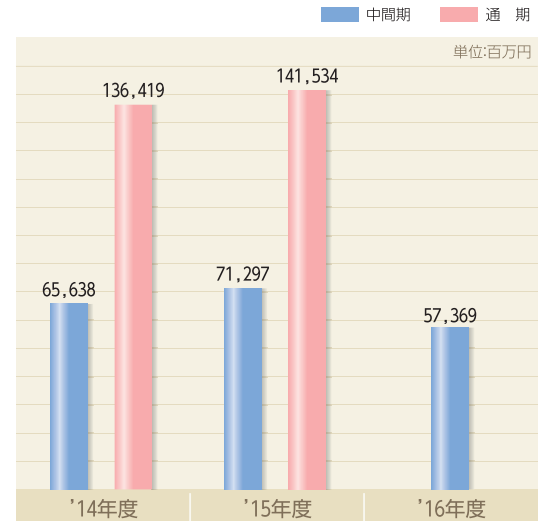
オールテレーンクレーン
(建設用クレーン)



トラッククレーン
(建設用クレーン)



ラフテレーンクレーン
(建設用クレーン)

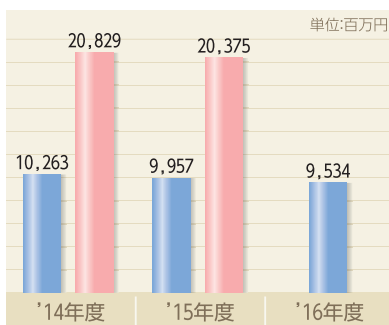


■車両搭載型クレーン

日本向け売上は、需要が減少するなか、拡販に注力し、88億8千6百万円（前年同期比95.8%）となりました。

海外向け売上は、新興国向けの販売に注力し、6億4千8百万円（前年同期比95.5%）となりました。

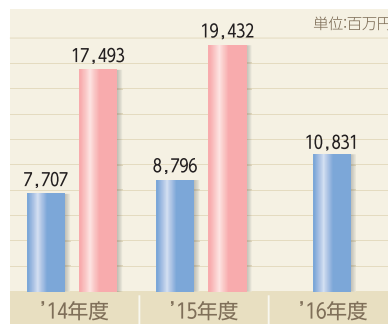
この結果、車両搭載型クレーンの売上高は95億3千4百万円（前年同期比95.8%）となりました。



カーゴクレーン
(車両搭載型クレーン)

■高所作業車

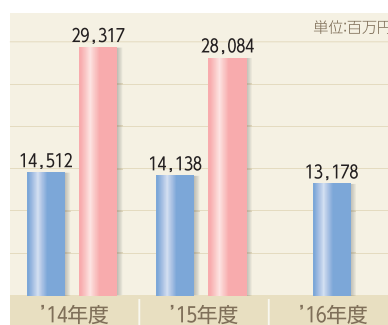
インフラ点検用途のニーズを背景に好調なレンタル業界に加え、電力電工業界の設備投資もあり、高所作業車の売上高は108億3千1百万円（前年同期比123.1%）となりました。



スーパーデッキ
(高所作業車)

■その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は131億7千8百万円（前年同期比93.2%）となりました。



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(前 期)：2016年3月31日現在
(当四半期)：2016年9月30日現在

単位:百万円

科 目	前 期	当四半期	科 目	前 期	当四半期
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	185,483	180,253	流動負債	70,028	62,824
現金及び預金	73,618	66,798	支払手形及び買掛金	35,845	32,262
受取手形及び売掛金	51,143	48,201	短期借入金	16,210	16,654
商品及び製品	24,404	27,062	リース債務	233	230
仕掛品	18,118	19,284	未払法人税等	5,523	2,679
原材料及び貯蔵品	10,499	11,940	引当金	1,756	1,562
繰延税金資産	4,217	3,798	未払金	5,014	4,383
その他	3,626	3,297	未経過割賦販売利益	207	112
貸倒引当金	△ 144	△ 131	その他	5,239	4,939
固定資産	49,917	48,522	固定負債	30,575	30,436
有形固定資産	38,982	37,906	社債	10,000	10,000
建物及び構築物	11,819	12,247	長期借入金	10,023	10,020
機械装置及び運搬具	2,909	2,781	リース債務	402	396
土地	20,176	20,013	繰延税金負債	166	163
リース資産	534	548	再評価に係る繰延税金負債	2,109	2,109
建設仮勘定	1,473	473	退職給付に係る負債	7,322	7,167
その他	2,067	1,842	その他	550	579
無形固定資産	1,187	1,008	負債合計	100,603	93,261
投資その他の資産	9,747	9,606	(純 資 産 の 部)		
投資有価証券	5,407	5,340	株主資本	133,190	138,528
繰延税金資産	2,677	2,648	資本金	13,021	13,021
その他	2,513	2,397	資本剰余金	16,850	16,855
貸倒引当金	△ 851	△ 779	利益剰余金	105,960	111,287
			自己株式	△ 2,642	△ 2,636
			その他の包括利益累計額	1,024	△ 3,514
			その他有価証券評価差額金	850	803
			土地再評価差額金	1,228	1,228
			為替換算調整勘定	△ 112	△ 4,676
			退職給付に係る調整累計額	△ 942	△ 868
			非支配株主持分	582	499
			純資産合計	134,796	135,513
資産合計	235,400	228,775	負債純資産合計	235,400	228,775

第2四半期連結損益計算書(累計)

(前四半期)：2015年4月1日から2015年9月30日まで
(当四半期)：2016年4月1日から2016年9月30日まで

単位:百万円

科 目	前四半期	当四半期
売上高	104,189	90,914
売上原価	72,533	65,282
割賦販売利益繰延前売上総利益	31,655	25,631
未経過割賦販売利益戻入	91	154
未経過割賦販売利益繰入	201	60
売上総利益	31,545	25,726
販売費及び一般管理費	15,358	15,631
営業利益	16,187	10,094
営業外収益	239	309
営業外費用	443	379
経常利益	15,983	10,024
特別利益	1	1
特別損失	25	58
税金等調整前四半期純利益	15,959	9,966
法人税、住民税及び事業税	5,669	2,595
法人税等調整額	△ 465	362
法人税等合計	5,203	2,957
四半期純利益	10,755	7,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,724	6,973

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(累計)

(前四半期)：2015年4月1日から2015年9月30日まで
(当四半期)：2016年4月1日から2016年9月30日まで

単位:百万円

科 目	前四半期	当四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	11,814	△ 4,580
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,405	△ 1,508
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,396	983
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△ 1,728
V 現金及び現金同等物の増減額	9,055	△ 6,834
VI 現金及び現金同等物の期首残高	61,262	73,120
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	70,317	66,285

会社概要 (2016年9月30日現在)

概 要

商 号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資 本 金	13,021,568,461円(発行済株式の総数 129,500,355株)
設 立	1948年8月24日
従 業 員 数	単独1,500名 連結3,415名
事 業 内 容	建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売
本 社	香川県高松市新田町甲34番地
工 場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、 多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
研 究 所・試 験 場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支 店・営 業 所	10支店・23営業所
海 外 事 務 所	北京事務所、中東事務所

グ ル ー プ 会 社

〔国内〕	〔海外〕
株式会社タダノアイメス	タダノ・ファウンGmbH [ドイツ]
株式会社タダノアイレック	タダノ・ファウン・シュタルパウGmbH [ドイツ]
株式会社タダノエステック	タダノ・ユーケーLtd. [イギリス]
株式会社タダノエンジニアリング	タダノ・フランスSAS [フランス]
株式会社タダノテクノ東日本	タダノ・アメリカCorp. [アメリカ]
株式会社タダノテクノ西日本	タダノ・マンティスCorp. [アメリカ]
太平機工株式会社	タダノ・アメリカ・ホールディングスInc. [アメリカ]
株式会社タダノ教習センター	タダノ・パナマS.A. [パナマ]
株式会社タダノ物流	タダノ・ブラジル・イクバントス・デ・エルヴァソナルLtda. [ブラジル]
株式会社タダノシステムズ	多田野(北京)科貿有限公司 [中国]
株式会社タダノビジネスサポート	京城多田野(北京)液圧機器有限公司 [中国]
日通重機サービス株式会社 *	金天利多田野(河北)金属加工有限公司 [中国]
	韓国多田野株式会社 [韓国]
	タダノ・アジアPte Ltd. [シンガポール]
	タダノ・タイランドCo.,Ltd. [タイ]
	タダノ・タイ・パーツ・アンド・サービスCo.,Ltd. [タイ]
	タダノ・インディアPvt.Ltd. [インド]
	タダノ・オセアニアPty Ltd [オーストラリア]
	北起多田野(北京)起重機有限公司 [中国] *
	台湾多田野股份有限公司 [台湾] *

(注)*印は関連会社、他は全て連結子会社です。

役 員

代表取締役社長	多田野 宏	一
取締役副社長	鈴木 山	正
取締役・執行役員常務	奥 山	環
取締役・執行役員常務	西 藤	陽
取 締 役	伊 田	一
取 締 役	吉 田	朗
		彦
		之
執行役員常務	アレクサンダー・クネヒト	
執行役員常務	飯村 慎	一
執行役員常務	高梨 利	幸
執行役員常務	橋倉 莊	六
執行役員常務	程 田	箭
執行役員	澤川 本	一
執行役員	藤野 村	親
執行役員	北野 明	之
執行役員	高木 啓	彦
執行役員	多田 野	行
執行役員	池浦 雅	司
執行役員	林 宏	彦
執行役員	徳 裕	三
執行役員	五味 幸	司
執行役員	官 野 耕	雄
常勤監査役	児玉 義隆	人
常勤監査役	大井 鹿	司
常勤監査役	井 之	司
監 査 役	三 宅 雄	一

(注)※印は、社外取締役及び社外監査役であります。



志度工場 [さぬき市]
(建設用クレーンの製造)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要がある場合には、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.tadano.co.jp/)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取扱いいたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 ☎0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) みずほ銀行 本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。

ホームページのお知らせ

ホームページにアクセスしていただきますと、当社の各種情報をご覧いただけます。



<http://www.tadano.co.jp/>

